

第4節 健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課は福祉・こども担当、介護高齢担当、健康増進担当で編成されている。

福祉・こども担当では、民生委員児童委員に関すること、地域福祉の推進に関すること、日本赤十字社に関することなどの業務を行った。また、身体・知的・精神障がい者手帳の交付をはじめ、障がい者を取り巻く環境や生活上の問題等について、相談支援や各種福祉サービスの提供等きめ細やかな対応に努めた。さらに、生活保護等生活困窮者の相談支援を行った。渡良瀬の里では、高齢者をはじめ各世代の人たちが交流を深めるコミュニティの場として、健康維持を図るため指定管理者による施設管理運営を行った。

また次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金などの各種申請受付業務を行った。放課後児童健全育成事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、老人クラブ育成事業等を実施した。また、高齢者福祉関係として、配食サービス事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当支給事業、紙おむつ購入費助成等事業等の介護予防・生活支援事業を実施した。さらに介護保険関係として、要介護（要支援）認定申請及び介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。

健康増進担当では、感染症のまん延防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種を実施した。また、各種がん検診、歯周疾患検診及び骨粗しょう症検診等を実施し、併せて高齢者の医療の確保に関する法律に基づき衛生部門として、特定健康診査及び特定保健指導を行った。さらに、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児の健康診査、各種教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見・早期支援を目的とした乳幼児発達相談及び小児生活習慣病予防のため、キッズ健康教室を実施した。健康づくり事業については、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する健康相談及び健康教育事業を行い、自殺予防対策事業では、自殺に対する正しい知識の普及啓発を図るため、こころの健康教室を開催した。

福祉・こども担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員42人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員4人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況

(単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
122	9	2	21	2	26
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
4	282	14	924	1,406	33.4

(2) 調査等状況

(単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的 機関との連絡	諸会合・行事 への参加	友愛訪問・安否 確認のための訪問	計	委員1人 当たり件数
731	11	1,204	1,566	3,855	7,367	175.4

2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤募金

目標額	実績額	達成率
1,649,200円	1,621,056円	98.3%

(2) 災害による救援品配布状況

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	2	6	6	6	2

(3) 災害見舞金給付状況

(単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
2	—	—	—	—

3 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区分		実施状況(人)
交付者数		257
	うち高齢者(80歳以上)	206
	高齢者(65～79歳)	21
	障がい者	25
	腎臓機能障がい者	5

4 身体障がい者の現況(身体障害者手帳交付状況)

(単位：人)

障がい区分	手帳所持者数	平成27年度中交付者数
視覚障がい	30	1
聴覚・平衡障がい	62	3
音声・言語・そしゃく障がい	3	1
肢体不自由障がい	326	15

内部障がい	199	16
複合障がい	26	-
合計	646	36

5 知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付者数）（単位：人）

区 分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度（A1・A2）	4	2	23	26	55
中度（B1）	2	-	30	19	51
軽度（B2）	5	4	15	11	35
合 計	11	6	68	56	141

6 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況（精神障害者保健福祉手帳交付者数）

区 分	交付者数(人)	比 率(%)
1 級	23	23.7
2 級	53	54.6
3 級	21	21.7
合 計	97	100.0

(2) 自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、185人が受給した。

7 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理（単位：件）

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	1	-	1	-	-	-
	義足	-	-	-	-	-	-
装具	下肢	4	2	6	-	-	-
	靴型	-	-	-	-	-	-
	体幹	-	-	-	-	-	-
	上肢	-	-	-	-	-	-
座位保持装置		-	-	-	1	-	1
盲人安全つえ		2	-	2	-	-	-
義眼		-	-	-	-	-	-
眼鏡	矯正眼鏡	-	-	-	-	-	-
	遮光眼鏡	-	-	-	-	-	-
	弱視眼鏡	-	-	-	-	-	-

補聴器	高度難聴用ポケット型	-	-	-	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	2	2	4	1	3	4
	重度難聴用ポケット型	-	2	2	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	1	2	3	-	-	-
車椅子	普通型	1	1	2	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-
電動車いす		1	-	1	-	-	-
起立保持具		-	-	-	-	-	-
座位保持いす		-	-	-	-	-	-
歩行器		-	-	-	-	-	-
歩行補助つえ		1	-	1	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		-	-	-	-	-	-
特例補装具		-	-	-	-	-	-
合計		13	9	22	2	3	5

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付 (単位：件)

区分	身体障がい者	身体障がい児
特殊寝台	-	-
特殊マット	-	-
特殊尿器	-	-
移動用リフト	-	-
訓練いす	-	-
入浴補助用具	1	-
体位変換器	-	-
便器	-	-
T字状・棒状のつえ	-	-
移動・移乗支援用具	-	-
頭部保護帽	-	-
特殊便器	-	-
火災警報器	-	-
自動消火器	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-
透析液加温器	1	-
ネブライザー	-	-
電気式たん吸引器	1	-
点字タイプライター	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	-	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	-	-
視覚障がい者用拡大読書器	-	-

盲人用時計	-	-
盲人用体温計	-	-
盲人用体重計	-	-
点字ディスプレイ	-	-
聴覚障がい者用通信装置	-	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-
人工喉頭	-	-
携帯用会話補助装置	-	-
情報・通信支援用具	-	-
点字図書	-	-
ストマ用器具	28	-
紙おむつ	4	2
収尿器	-	-
居宅生活動作補助用具	-	-
合計	35	2

8 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）受給状況

（単位：人）

種別	給付決定者数
視覚障がい	-
聴覚・平衡機能障がい	-
音声・言語・そしゃく機能障がい	-
免疫機能障がい	-
肢体不自由	-
心臓機能障がい	3
腎臓機能障がい	47
合計	50

9 身体障がい児の自立支援医療（育成医療）受給状況

（単位：人）

種別	給付決定者数
視覚障がい	-
聴覚・平衡機能障がい	-
音声・言語・そしゃく機能障がい	2
免疫機能障がい	-
肢体不自由	1
心臓機能障がい	-
腎臓機能障がい	-

合 計	3
-----	---

10 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、藤岡地域4か所の小学校区内において実施した。

11 児童手当

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することと、家庭等の生活の安定に寄与するため、児童を養育する保護者へ案内・受付を行った。

- ・児童手当受付件数 159件

12 赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、第2子以降のお子さんが誕生した、市内に住所を有する保護者から赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

(単位：件)

事業名	祝金額	受付件数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	24
	第三子以降 20,000円	16

13 児童扶養手当・遺児手当

児童の健全な育成及び福祉の増進を図るため、父母の離婚や死亡などによって片親と生計を同じくしていない児童、または片親が重度の障害の状態にある児童について児童扶養手当、父母の一方又は両方が死亡した児童について遺児手当の案内・相談・受付を行った。

(単位：件)

種別	受付件数
児童扶養手当	28
遺児手当	1

14 渡良瀬の里利用状況

利用者相互の交流と憩いの場として、福祉及び健康の増進を図り、入浴、カラオケ、グラウンドゴルフの利用できる施設として、指定管理者により運営しており利用状況は次のとおりである。

(1) 利用状況

- ・年度別利用者数 (単位：人)

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用者数	34,033	34,539	37,233

- ・開館日数 305日

・ 1日平均入場者 122人

・ 月別内訳

区分 月別	大人(一般)		回数券 利用 (人)	子供 (人)	障害者 (人)	グラウン ドゴルフ (人)	その他 (人)	計 (人)	開館 日数 (日)
	65歳 以上 (人)	64歳 以下 (人)							
4	1,516	199	598	110	290	116	398	3,227	25
5	1,536	235	684	111	323	156	331	3,376	27
6	1,363	171	667	46	272	94	273	2,886	25
7	1,369	145	583	59	252	83	252	2,743	27
8	1,399	186	511	102	272	-	296	2,766	26
9	1,480	210	539	91	270	123	123	2,836	26
10	1,670	136	673	112	290	97	231	3,209	27
11	1,575	154	568	71	267	69	284	2,988	24
12	1,361	126	543	53	287	52	315	2,737	23
1	1,576	143	652	59	302	18	281	3,031	24
2	1,723	148	601	43	318	58	274	3,165	23
3	2,274	182	910	106	382	103	312	4,269	28
計	18,842	2,035	7,529	963	3,525	969	3,370	37,233	305

(2) 事業実施状況(指定管理者による自主事業)

・ 健康体操教室・・・毎週金曜日(午前11時～午前12時)

・ 健康相談・・・月1回

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口(藤岡地域4月1日現在)

区分	年度		
	平成25年度	平成26年度	平成27年度
総人口(人)	16,858	16,623	16,438
65歳以上人口(人)	4,867	4,998	5,112
総人口に対する割合(%)	28.87	30.07	31.10

(2) 高齢者生活態様(藤岡地域) (5～6月調査結果)

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総数		5,112	100
内 訳	独居	499	9.8
	高齢者世帯※ (世帯数)	1,111 (541世帯)	21.7

その他	3,502	68.5
-----	-------	------

※ 65歳以上のみで構成される世帯

2 敬老祝賀事業

9月1日（基準日）において、本市に引続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせて敬老祝金を贈呈した。95歳以下の方への配付は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区 分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	162
90歳	20,000	83
95歳	30,000	23
100歳	100,000	4
101歳以上	50,000	8

3 敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等対し、その地域に在住の80歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

・補助金交付自治会数等

老人クラブ 14 団体（41 自治会分）

自治会等 16 団体（27 自治会分）

・補助額 1,363,000 円 ※本庁高齢福祉課予算

4 とちぎ蔵の街シニアクラブ活動支援事業

とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会藤岡支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、支援を行った。

・単位老人クラブ数（藤岡地域） 14 クラブ

・とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会藤岡支部会員数 733 人

・助成額 単位老人クラブ助成 684,000 円 ※本庁高齢福祉課予算

5 高齢者配食サービス事業

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため昼食弁当（1食300円）を宅配し、併せて安否確認も行った。

・宅配個数 2,671 個

・宅配人数 30 人（実人数）

・宅配業者 （株）金時給食センター 柳橋町 6-29

新味紀行(株) 大平町西水代 2953-2

6 高齢者ふれあい相談員事業（藤岡地域）

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・相談員数 91人
- ・訪問世帯数 670世帯

7 日常生活用具購入費助成等事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
老人福祉車	32
小型暖房器具	10
電磁調理器	-
火災警報器	-
自動消火器	-

8 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成。

- ・日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
電動小型吸引機	4
特殊寝台	1
じょく瘡予防用具	-

9 緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

- ・設置状況 (単位：台)

既設置台数	平成 27 年度設置台数	平成 27 年度撤去台数	計
82	5	10	77

10 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定 3・4・5 いずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額 3,000 円の介護手当を支給した。

- ・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数(延べ人数) (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合 計
132	134	266

11 紙おむつ購入費助成事業

市内に住所を有し、要介護認定 3・4・5 いずれかに認定された方で、日常生活において常時紙おむつが必要な方に対し月額 3,500 円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数（延べ人数） (単位：人)

上半期支給者数	下半期支給者数	合計
134	136	270

12 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣事業

- ・利用者数 一人
- ・延べ回数 一回（一時間）

(2) 軽度生活援助員派遣事業

- ・利用者数 17 人
- ・延べ利用時間数

(単位：時間)

家事	145
除草	438
植木手入れ	93
大工	16

13 健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成事業

高齢者の健康保持や健康寿命延伸を目的に、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧施術料助成券を配付し、施術料の一部について助成した。

- ・事業対象者 市内在住で満 75 歳以上の方
- ・助成券概要 6 枚綴、1 枚につき 800 円の助成
- ・配付実績 10 冊
- ・利用実績 4 枚

14 高齢者生きがいセンター管理運営委託事業

藤岡高齢者生きがいセンターの管理を、栃木市シルバー人材センターに委託した。

15 介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。（要介護（要支援）認定申請数値は本庁高齢福祉課で一括計上）

健康増進担当

1 健康増進計画推進事業

6つの重点領域（①栄養・食生活②身体活動・運動③喫煙④こころの健康⑤歯と口の健康⑥健康診査・検診）ごとにライフステージ別、関係機関別に取り組みを行い、関係機関と連携し健康づくりを推進した。

(1) 主な取組

- ・乳児健診等において健康情報の提供
- ・小児生活習慣病予防教室の開催
- ・妊産婦や乳幼児のいる家庭への受動喫煙の害等の啓発
- ・各健康教室やふくしまつりにおいて自殺予防普及啓発
- ・子育てサロンにおいて歯の健康教育・相談を実施
- ・ふくしまつりにおいて歯の健康コーナーを開設

2 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対して母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況 (単位：件)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数			
	妊娠届出	双胎	紛失等	
61	63	61	-	2

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査（数値は本庁健康増進課で一括計上）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施）

イ 妊婦歯科健康診査（数値は本庁健康増進課で一括計上）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	78	77	98.7	12	7	3	1
乳児健康診査 (9か月児)	12	75	74	98.7	8	2	-	3
1歳6か月児 健康診査	6	64	60	93.8	23	4	1	-
3歳児 健康診査	6	90	85	94.4	23	5	7	8

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

(ア) 歯科健康診査

実施回数(回)	対象数(人)	受診数(人)	受診率(%)	う歯のある児(人)
4	97	76	78.4	1 (1.3%)

(イ) 保健師による2歳児育児相談

・参加者延べ人数 35人

オ 乳幼児発達相談(2次健診) (数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上)

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において発達に問題があると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。大平・藤岡・岩舟地域で合同開催し、大平会場で実施した。

カ 乳児先天性股関節脱臼検診(数値は本庁健康増進課で一括計上)

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

(3) 健康教育

ア 両親(母親)教室(数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上)

妊婦と夫及び妊婦の支援者に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、お風呂の入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。大平・藤岡・岩舟地域で合同開催し、大平会場で実施した。

イ 子育てサロン(子育て相談・むし歯予防教室)

子育て支援を推進する事業の一環として、子どもの発達に合わせた子育ての知識を提供するとともに、育児不安の相談や指導及び親子の交流を図ることを目的に実施した。

・実施回数 4回

・子育て相談 参加者延べ数 26組

・むし歯予防教室 参加者延べ数 48組

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)(数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。大平・藤岡・岩舟地域で合同開催し、大平会場で実施した。

エ 小児生活習慣病予防事業

小児肥満や小児生活習慣病を予防する目的で健康教育を行った。

・キッズ健康教室

対 象	実施回数(回)	参 加 人 数(人)
就学前幼児の父母及び祖父母	1	28

オ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配付を行った。

・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後)

・参加者延べ数 74組

カ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市1町(栃木市・壬生町)の共催で小学1年生と年長児に対し、フッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。(年1回)

・フッ素塗布者数 (単位：人)

小学1年生	年長児	合 計
22	13	35

キ よい歯のコンクール(数値は本庁健康増進課で一括計上)

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(3歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は県南地区の2次審査に推薦した。

(4) 健康相談

ア 3か月児びよびよ相談(数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上)

生後3か月児及びその保護者を対象に、育児について適切な相談・助言を行うことで育児不安を軽減し、よりよい親子関係を図る目的で実施した。また、子育てをすすめる中での悩みを共有し合い、地域での仲間づくりへの支援を行った。大平・藤岡・岩舟地域で合同開催し、大平会場で実施した。

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい高機能自閉症等の発達障がい早期発見及び支援を行うことにより、幼児の健全育成を図るため、年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

・実施状況

(単位：人)

受診数	結果内訳				
	異常なし	要観察	既医療・ 既療育	要精密検査	療育機関等 紹介
125	97	-	6	3	19

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 2件
- ・指導延べ数 2件

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

- ・訪問数 76件

(5) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（藤岡地域17人）が、妊産婦や乳児の家庭訪問及び子育て教室の協力を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

(単位：件)

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	その他	合計
件数	53	29	35	117

3 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査、後期高齢者健康診査及びヤング健診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

- ・実施回数 11回
- ・実施場所 藤岡保健福祉センター
藤岡公民館
三鴨公民館

(2) 健診結果説明会

- ・実施回数 8回
- ・参加人数 49人

(3) 特定保健指導

ア 初回指導

区分	対象者数(人)	指導数(人)	初回指導率(%)
積極的支援	18	16	88.9
動機付け支援	59	47	79.7

合計	77	63	81.8
----	----	----	------

イ 中間評価（初回面接から3か月後）

区 分	指導数（人）	
	H27年初回面接実施者	H26年初回面接実施者
積極的支援	12	9
動機付け支援	17	15
合計	29	24

ウ 最終評価（初回面接から6か月後）

区 分	指導者数（人）	
	H27年初回面接実施者	H26年初回面接実施者
積極的支援	7	9
動機付け支援	7	35
合計	14	44

(4) メタボ予防講座（特保該当者）

ア 知って納得！からだスッキリ栄養教室（血糖編・コレステロール編）
メタボリックシンドロームの予防や改善のための栄養指導を行った。

- ・実施回数 4回
- ・参加延べ人数 6人

イ 知って納得！からだスッキリ運動教室

メタボリックシンドロームの予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 12回
- ・参加延べ人数 2人

4 健康診査事業(健康増進法による健診)

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウィルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）等を行った。（数値は本庁健康増進課で一括計上）

- ・集団健診実施回数 11回
- ・集団健診実施場所 藤岡保健福祉センター
藤岡公民館
三鴨公民館

5 健康づくり事業

(1) 健康教育

ア 知って納得！からだスッキリ栄養教室（血糖編・コレステロール編）
（特保該当者の教室と同時開催）

メタボリックシンドロームの予防や改善のための栄養指導を行った。

- ・実施回数 4回
- ・参加延べ人数 56人

イ 知って納得！からだスッキリ栄養教室（血糖編）フォローアップ教室

メタボリックシンドローム予防・改善のため、栄養・運動の継続指導を行った。

(特定保健指導3か月目相談と同時開催)

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 5人

ウ 知って納得！からだスッキリ運動教室（特保該当者の教室と同時開催）

メタボリックシンドロームの予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 12回
- ・参加人数 297人

エ 高血圧予防教室

高血圧の予防や改善のための講話・調理実習を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 16人

オ 禁煙サポート教室（数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上）

禁煙を希望する者に対して禁煙に対する正しい知識を提供し、自分に適した禁煙方法を理解できるよう禁煙の開始や継続を支援した。

- ・実施回数 3回1コース

カ 地域別歯周病講演会 健口長寿で元気にいつまでも！

「あなたの歯と口は元気ですか？」

口腔機能向上に関する情報提供、体験の機会を設け、健康の保持増進を図ることを目的とした。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 20人

キ 歯周疾患予防教育

歯の健康やセルフケアの基本方法等について指導を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 20人

ク 出前講座

地域や団体において、生活習慣病予防を図るための健康講話等を行った。

- ・実施回数 1回
- ・参加人数 19人

(2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 4回
- ・延べ相談者数 4人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

(3) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・延べ相談者数 3人
- ・内容 管理栄養士による個別指導

・指導内訳

(単位：件)

糖尿病	2	高血圧	2	脂質異常症	3
肝臓病	-	腎臓病	-	その他	1

6 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、地域の自殺の現状を理解することや自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

(1) 健康教育

- ・内容 笑いの脳科学
- ・参加人数 47人

(2) 啓発

各種事業時において、自殺予防相談窓口や自殺予防のための内容を含めたチラシ、パンフレット及びポケットティッシュ等啓発物品を配布した。

7 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防接種対象者に個人通知により接種勧奨し、各協力医療機関において個別接種で実施した。

ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、BCG、四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）、三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）、急性灰白髄炎（ポリオ）、麻しん風しん（混合）、水痘、日本脳炎、二種混合（ジフテリア・破傷風）、ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌

(2) 任意予防接種

小児インフルエンザ、おたふくかぜ、B型肝炎、ロタウイルス感染症、水痘フォローアップ(4～9月)、高齢者用肺炎球菌、風しん予防対策事業を各協力医療機関において希望者に実施した。

8 地域保健対策推進事業

(1) 健康まつり事業

市民の健康意識の高揚を図るため、ふくしま祭り及び産業祭に参加し地域における健康づくりを推進した。

ふくしま祭り

- ・実施日 10月18日(日)
- ・場 所 藤岡公民館
- ・参加者 健康チェックコーナー 47人
咀嚼力チェック・PHテスト・ブラッシング指導 51人

(2) 食生活改善地区組織活動

栃木市食生活改善推進員協議会藤岡支部（会員数21人）では、地域住民を対象に、食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会などを行った。

- ・各講習会 6回
- ・参加人数 221人

(3) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・訪問世帯数 79世帯
- ・保健師訪問指導延べ人数 261人

内訳

(単位：人)

精神保健	53	妊産婦	66	乳幼児	110	生活習慣病	9
新生児	2	低体重児	-	他の疾患	1	その他	20
心身障がい	-	結核	-				

9 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml 献血(人)	400ml 献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
1	8	-	7	-	7	1

10 藤岡保健福祉センター利用状況

(単位：人)

区分	会議室	検診ホール	調理実習室	その他	合計
利用者数	417	233	124	-	774

(当課事業及び市関係団体の通年使用を除く。)